

第1回

茨木市自転車利用環境 整備計画協議会

説明資料【本編】

平成26年8月13日（水）

10:00～12:00

茨木市自転車利用環境整備計画 の策定に向けて

- (1) 茨木市自転車利用環境整備計画策定の
目的・各回の議題
- (2) 自転車利用に関する現状
- (3) 自転車利用に関する課題
- (4) 取組み施策について



(1) 自転車利用環境整備計画策定の 目的・各回の議題

- 1. 自転車利用環境整備計画策定の目的**
- 2. 協議会のスケジュール**
- 3. 検討事項と各回の主要議題について**



1. 自転車利用環境整備計画策定の目的

自転車は車両であるという意識の希薄化、自転車通行空間の未整備等により、歩行者と自転車との事故の増加や路上の放置自転車が歩行者の通行に支障をきたすといった問題などが顕著化



通行空間・駐輪環境の整備、通行ルールの徹底等ハード・ソフトの両面から取組を行い、安全・安心で快適な自転車の利用環境を創出することを目的に茨木市自転車利用環境整備計画を策定する。

2. 協議会のスケジュール

7月	7月下旬 ヒアリング調査の実施〔 13(日)、15(火) 〕
8月	8/13(水) 第1回協議会(本日)
9月	駐車場・駐輪場の利用実態調査の実施
10月	
11月	11月中旬 第2回協議会
12月	
1月	1月中旬 第3回協議会
2月	2月下旬 パブリックコメントの実施
3月	3月中旬 第4回協議会
3月	3月下旬 茨木市自転車利用環境整備計画の策定

3. 検討事項と各回の主要議題について

1. 自転車を取り巻く現状と課題

- これまでの取組み
- 茨木市の自転車利用の現状
- 課題のまとめ



**第1回
(本日)**

2. 計画目標と基本方針

- 計画の目標 **第2回**
- 目標の実現に向けた基本方針 **第2回**



3. 検討事項と各回の主要議題について

3. 自転車利用環境整備に向けた取り組み

□通行環境“はしる”に向けて	第2回
□駐輪環境“とめる”に向けて	第3回
□安全利用“まもる”に向けて	第3回
□利用促進“つかう”に向けて	第3回

※本日、一般的な取り組みについて紹介します

4. 自転車利用環境整備計画(案)の作成

□整備計画(素案)の作成	第3回
□パブリックコメントを踏まえた整備計画(案)の作成	第4回

(2) 自転車利用に関する現状

- 1. 自転車利用に関する我が国の現状**
- 2. 自転車施策の取組み状況**
- 3. 茨木市の現状**
- 4. ヒアリング調査の概要**



1. 自転車利用に関する我が国の現状

■我が国の現状

- **自転車**は都市内交通等において重要な移動手段となっており、**利用ニーズが高まっている**
- 交通事故全体の件数が減少傾向にある中で、交通事故全体における**自転車関連事故の割合が増加している**
- 歩行者と自転車の**通行空間の分離は、整備が進んでいない**



■課題

自転車を含む全ての道路利用者が安心・安全に道路を利用できる環境の整備が求められている

2. 自転車施策の取り組み状況

■警察庁

平成19年7月 「自転車安全利用五則」（交通対策本部決定）

平成23年10月 「良好な自転車交通秩序の実現のための
総合対策の推進について」（交通局通達）

平成24年4月 「みんなにやさしい自転車環境
—安全で快適な自転車利用環境の創出に向けた提言—」
（安全で快適な自転車利用環境の創出に向けた検討委員会）

平成24年11月 「安全で快適な
自転車利用環境創出ガイドライン」
（国土交通省道路局、警察庁交通局）

2. 自転車施策の取り組み状況

■国土交通省

平成19年度 「新たな自転車利用環境のあり方を考える懇談会」

平成20年1月 「自転車通行環境整備モデル地区」

平成24年4月 「みんなにやさしい自転車環境

ー安全で快適な自転車利用環境の創出に向けた提言ー」

(安全で快適な自転車利用環境の創出に向けた検討委員会)

平成24年11月 「安全で快適な

自転車利用環境創出ガイドライン」
(国土交通省道路局、警察庁交通局)

2. 自転車施策の取組み状況

■大阪府

府内における自転車ネットワーク計画の策定状況

平成22年 箕面市

「箕面市自転車のみちネットワーク化計画」を策定

平成24年3月 大阪市

「自転車利用環境の整備に関する今後の取組みの考え方」を策定

平成25年6月 堺市

「堺市自転車利用環境計画」を策定



2. 自転車施策の取り組み状況

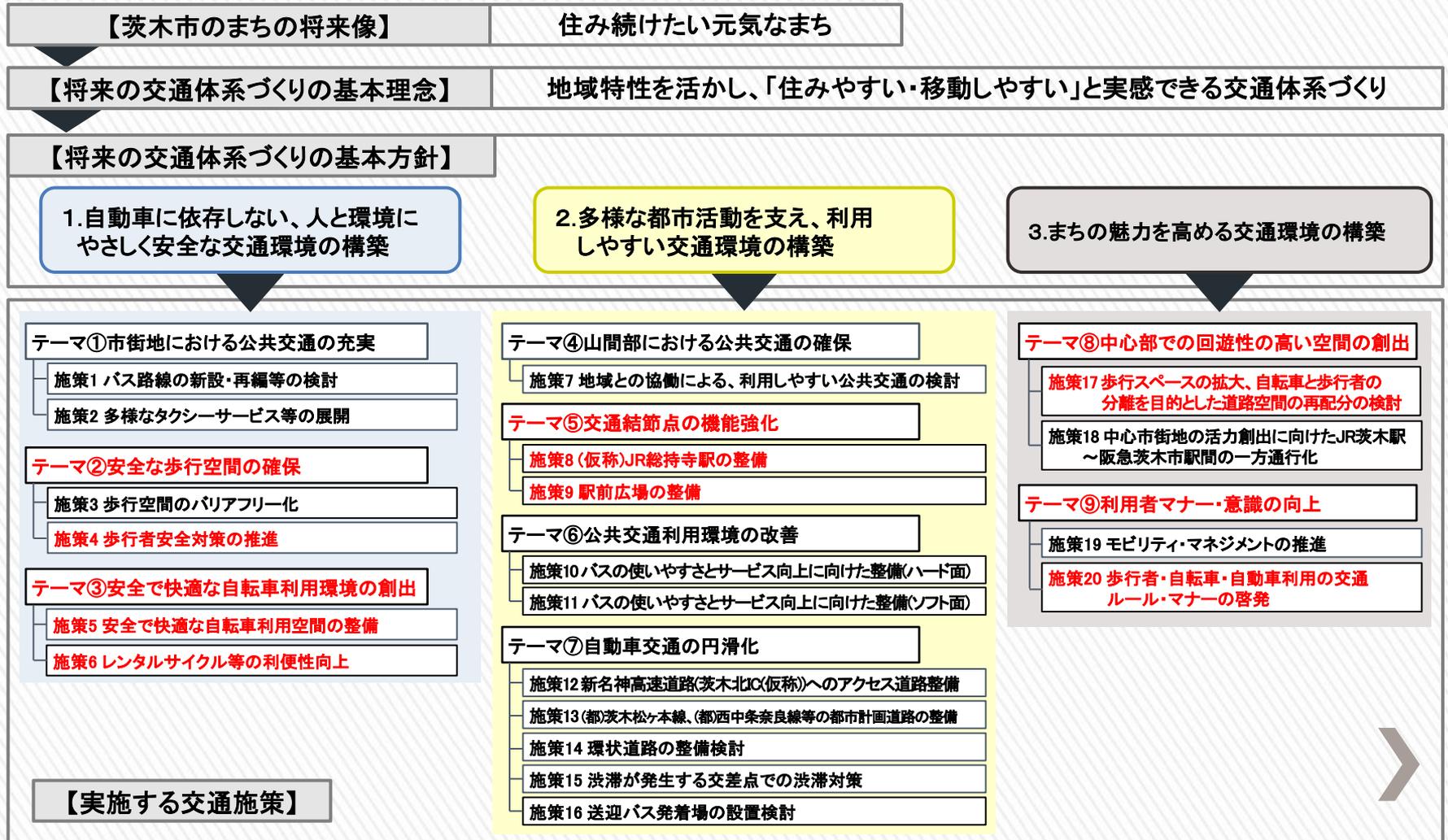
■茨木市

- 平成25年11月 自転車レーンの設置
(JR茨木駅東口交差点～消防本部前、約500m)
- 平成26年3月 自転車レーンの設置
(消防本部前～舟木町交差点、約650m)
- 平成26年3月 茨木市総合交通戦略を策定



2. 自転車施策の取組み状況

■茨木市総合交通戦略(平成26年3月)



赤字: 自転車に関連する項目

茨木市総合交通戦略(平成26年3月)をもとに作成

2. 自転車施策の取り組み状況

■茨木市総合交通戦略(平成26年3月)

テーマ③安全で快適な自転車利用環境の創出

将来目標

- 鉄道駅等の主要施設へアクセスする道路は、安全かつ快適に自転車が走行できる空間が整備されており、通勤、通学や買物等における短い距離の移動において多くの方が自転車を利用しています。
- 自転車を運転する人は交通法規を守り、歩行者に十分配慮して走行しています。
- 自動車を運転する人は自転車の走行を尊重し、自動車と自転車が共存しています。
- 茨木市を訪れる人も、気軽に自転車を利用することができます。
- レンタサイクルや電動自転車のシェアリングなどにより、自転車の利用が促進されています。

3. 茨木市の現状

- ①地勢状況（標高、土地利用）
- ②人口（人口・人口推移、人口密度）
- ③主要施設の立地状況（主要施設、主要プロジェクト）
- ④道路構造（車線数、自転車歩行者道）
- ⑤交通量（自動車、自転車、歩行者）
- ⑥交通手段（代表交通手段、通勤・通学時の交通手段）
- ⑦自転車保有台数
- ⑧自転車撤去台数
- ⑨駐輪場の利用状況
- ⑩自転車流動
- ⑪自転車関連事故
- ⑫市内における自転車レーン



3. 茨木市の現状

①地勢状況

- 国道171号を境に、北側は山間部、南側は平野部を形成している。
- 平野部は、建物用地等の都市的土地利用が広がっている。

②人口

- 市内人口は27.8万人。平野部に人口が集中している。
- H32年をピークに、減少傾向にあると予測されている。
- 高齢者は増加傾向にある。

③主要施設の立地状況

- 公共公益施設や大規模商業施設は、平野部に集中している。
- 概ねH30年までに、立命館大学の開学、(仮称)JR総持寺駅の整備、スマートコミュニティの整備、彩都事業等が控えている。

3. 茨木市の現状

④道路構造

- 市内における大部分の幹線系道路は、2～3車線道路である。
- 国道・府道における歩道の大部分が、自転車通行可に指定されている。

⑤交通量

- 平野部における市街地の幹線系道路は、自動車交通量10,000(台/日)以上の路線が多い。
- JR茨木駅、阪急茨木市駅・南茨木駅周辺の道路では、自転車1,000(台/12h)以上、歩行者500(人/12h)以上の路線が多い。

⑥交通手段

- 自転車利用が最も多く、全体の交通手段の1/4を占めている。
- 茨木市内を移動する交通手段は、徒歩の次に自転車移動が多く、全体の交通手段の1/3を占めている。

3. 茨木市の現状

⑦ 自転車保有台数

- 1世帯当たり2台の自転車を保有している。
- 自転車保有率は、大阪府全体の保有率より高い。

⑧ 自転車撤去台数

- 年間当たり7,000～9,000台の撤去台数があり、撤去台数の推移は横ばい傾向にある。
- 阪急茨木市駅の撤去台数が突出しており、全体の約6割を占めている。

⑨ 駐輪場の利用状況

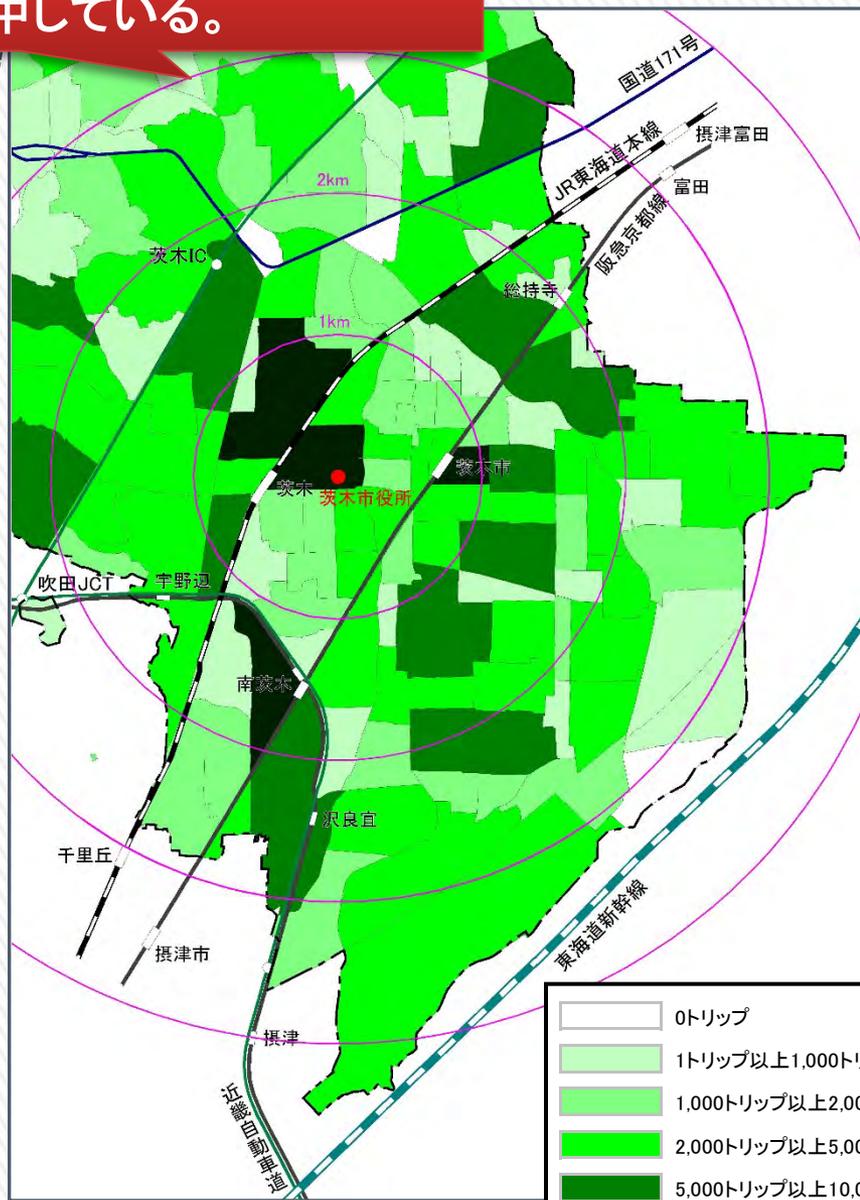
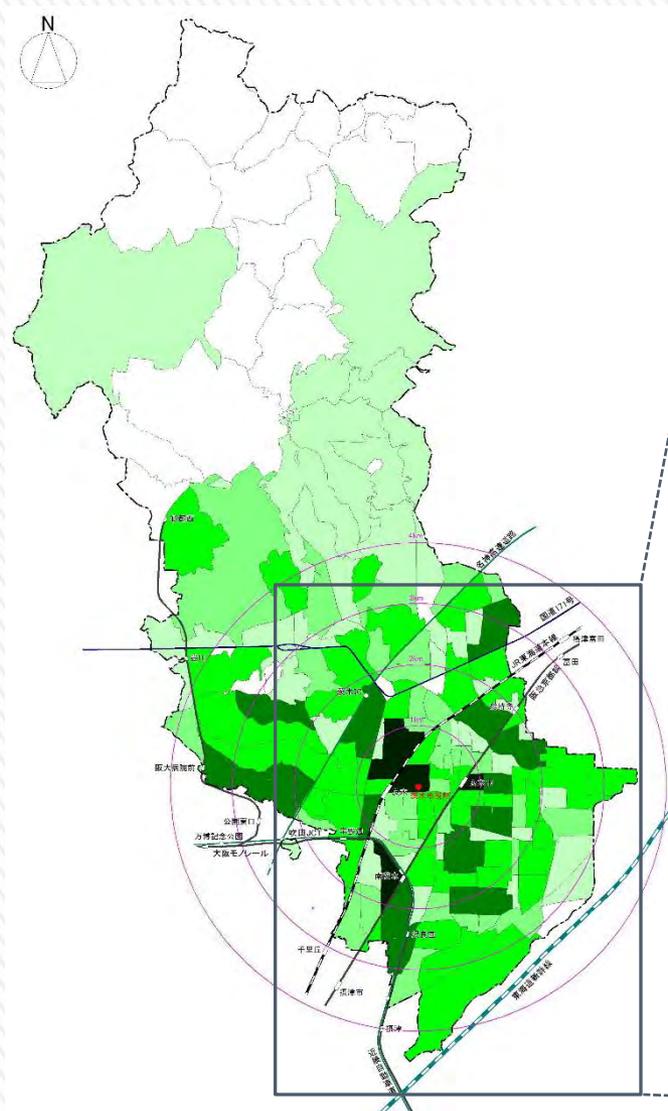
- 南茨木駅周辺では、1日当たりの不法駐輪台数が、平日132台、休日121台確認されている。

※その他の駅の駐車場・駐輪場実態調査は、9月に実施予定

⑩ 自転車流動

◎ 発生集中量（字別）

駅周辺に自転車トリップが集中している。



White	0トリップ
Lightest Green	1トリップ以上1,000トリップ未満
Light Green	1,000トリップ以上2,000トリップ未満
Medium Green	2,000トリップ以上5,000トリップ未満
Dark Green	5,000トリップ以上10,000トリップ未満
Black	10,000トリップ以上

資料：第5回近畿圏パーソントリップ調査(交通実態調査)

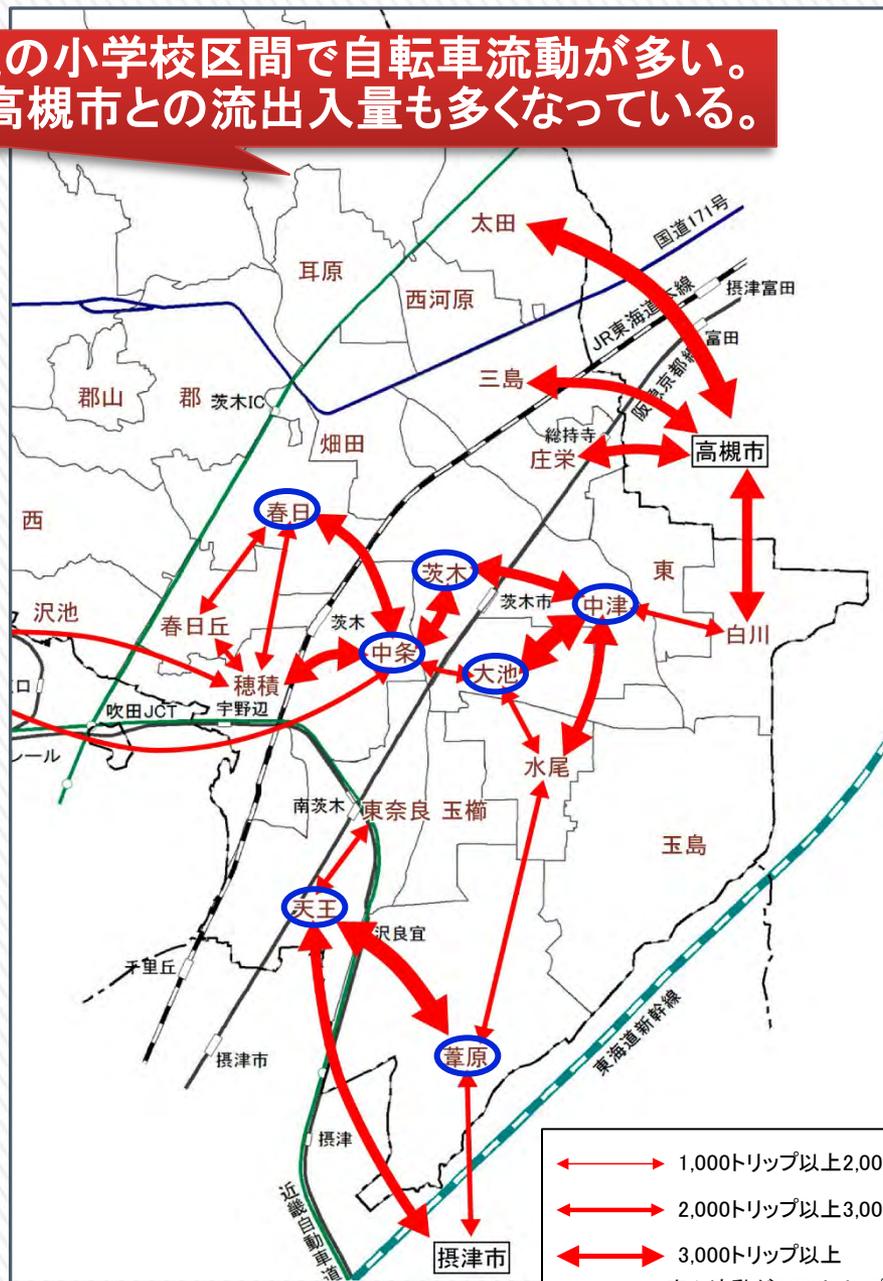
⑩ 自転車流動

◎ 主要なOD流動

駅周辺の小学校区間で自転車流動が多い。
また、高槻市との流出入量も多くなっている。

表-自転車トリップ数が1,000以上

順位	出発地・目的地1		出発地・目的地2		往復トリップ数	備考
	市町村	小学校区	市町村	小学校区		
1	茨木市	太田小	高槻市	-	5,541	
2	茨木市	葦原小	茨木市	葦原小	4,256	同一学区内
3	茨木市	茨木小	茨木市	茨木小	3,463	同一学区内
4	茨木市	大池小	茨木市	中津小	3,413	
5	茨木市	天王小	茨木市	葦原小	3,385	
6	茨木市	中津小	茨木市	中津小	3,385	同一学区内
7	茨木市	天王小	茨木市	天王小	3,204	同一学区内
8	茨木市	天王小	摂津市	-	2,973	
9	茨木市	春日小	茨木市	中条小	2,940	
10	茨木市	春日小	茨木市	春日小	2,858	同一学区内
11	茨木市	中条小	茨木市	中条小	2,591	同一学区内
12	茨木市	中条小	茨木市	穂積小	2,500	
13	茨木市	茨木小	茨木市	中条小	2,486	
14	茨木市	白川小	高槻市	-	2,458	
15	茨木市	庄栄小	高槻市	-	2,371	
16	茨木市	中津小	茨木市	水尾小	2,300	
17	茨木市	大池小	茨木市	大池小	2,232	同一学区内
18	茨木市	茨木小	茨木市	中津小	2,108	
19	茨木市	三島小	高槻市	-	2,032	
20	茨木市	水尾小	茨木市	葦原小	1,914	
21	茨木市	中津小	茨木市	白川小	1,901	
22	茨木市	春日小	茨木市	春日丘小	1,880	
23	茨木市	庄栄小	茨木市	庄栄小	1,863	同一学区内
24	茨木市	太田小	茨木市	太田小	1,773	同一学区内
25	茨木市	葦原小	摂津市	-	1,735	
26	茨木市	三島小	茨木市	三島小	1,733	同一学区内
27	茨木市	春日小	茨木市	穂積小	1,723	
28	茨木市	穂積小	吹田市	-	1,721	
29	茨木市	天王小	茨木市	東奈良小	1,687	
30	茨木市	中条小	吹田市	-	1,620	
31	茨木市	穂積小	茨木市	穂積小	1,583	同一学区内
32	茨木市	中条小	茨木市	大池小	1,551	
33	茨木市	大池小	茨木市	水尾小	1,548	
34	茨木市	春日丘小	茨木市	穂積小	1,539	
35	茨木市	春日丘小	茨木市	春日丘小	1,523	同一学区内



- ↔ 1,000トリップ以上2,000トリップ未満
- ↔↔ 2,000トリップ以上3,000トリップ未満
- ↔↔↔ 3,000トリップ以上
- 内々流動が2,000トリップ以上の小学校区

資料: 第5回近畿圏パーソントリップ調査(交通実態調査)

⑪ 自転車関連事故

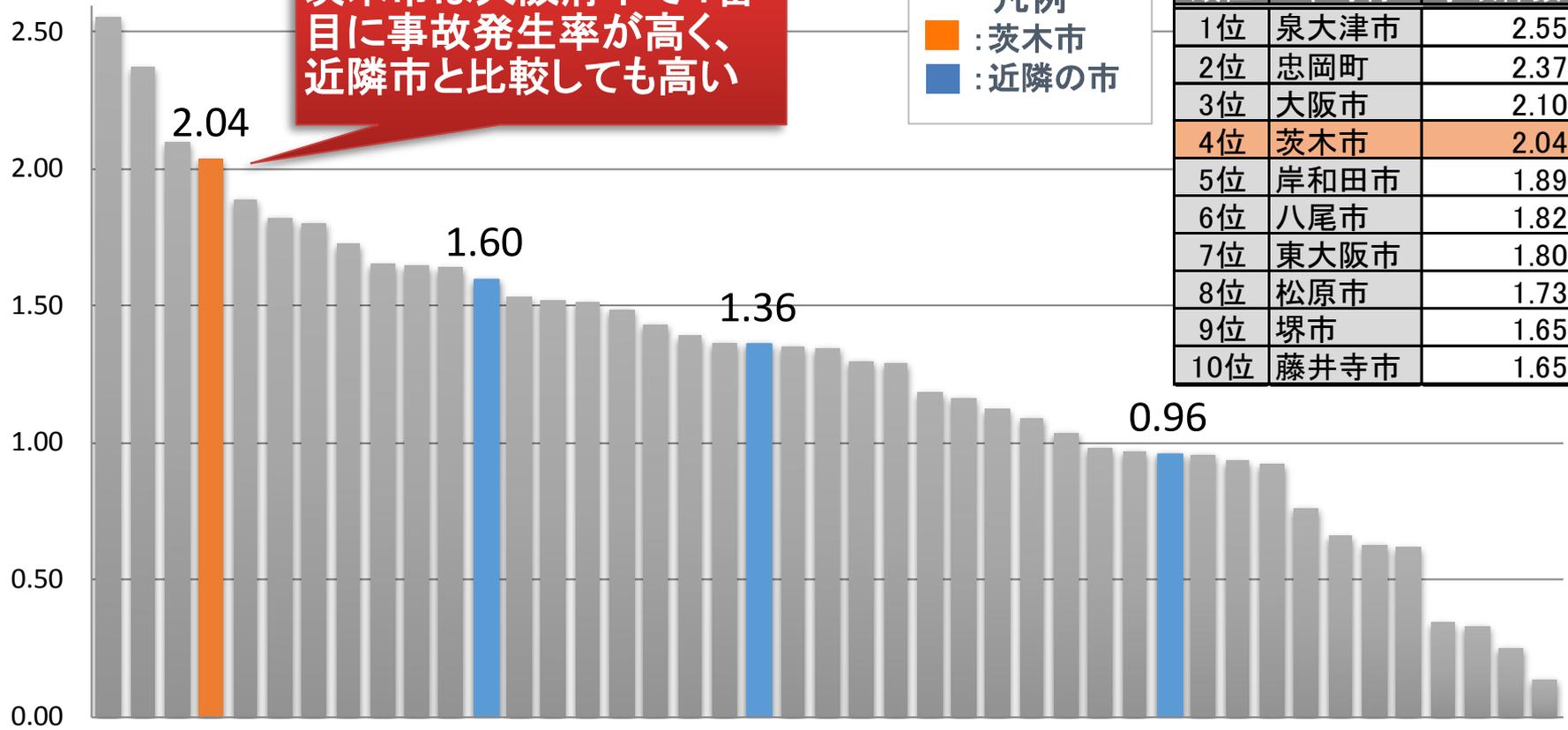
◎ 大阪府市町村別の人口千人当たり自転車事故件数 (H25)

(件/千人)

茨木市は大阪府下で4番目に事故発生率が高く、近隣市と比較しても高い

凡例
■ : 茨木市
■ : 近隣の市

順位	市町村	事故件数
1位	泉大津市	2.55
2位	忠岡町	2.37
3位	大阪市	2.10
4位	茨木市	2.04
5位	岸和田市	1.89
6位	八尾市	1.82
7位	東大阪市	1.80
8位	松原市	1.73
9位	堺市	1.65
10位	藤井寺市	1.65

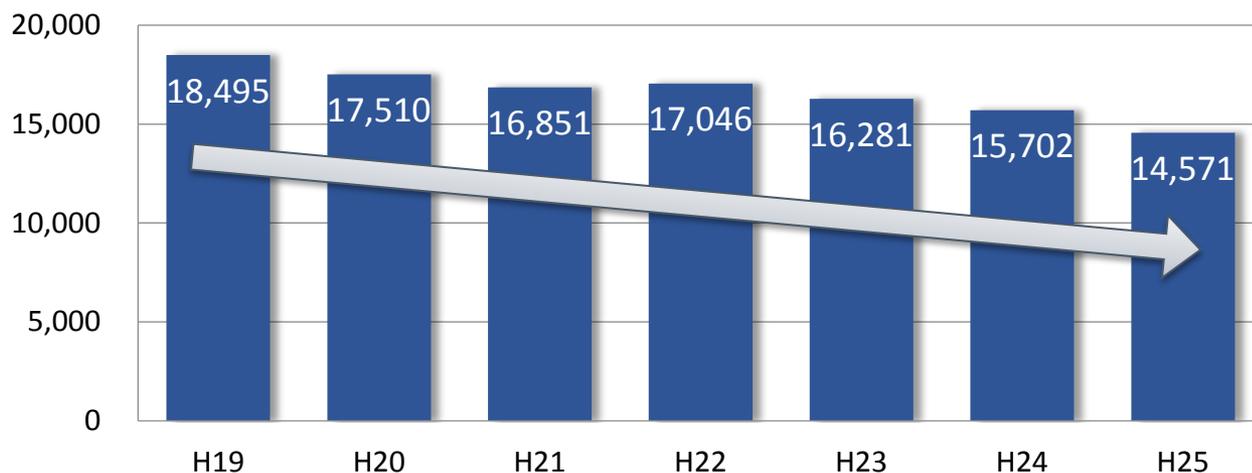


泉大津市 忠岡町 大阪府 茨木市 岸和田市 八尾市 東大阪市 松原市 堺市 藤井寺市 大東市 高槻市 貝塚市 門真市 守口市 柏原市 泉佐野市 羽曳野市 和泉市 摂津市 池田市 箕面市 富田林市 寝屋川市 大田原市 泉南市 豊中市 高石市 枚方市 太田市 吹田市 交野市 熊取町 四條畷市 河内町 島本町 岬町 河内町 能勢町 千早赤阪村 田尻町 豊能町

⑪ 自転車関連事故

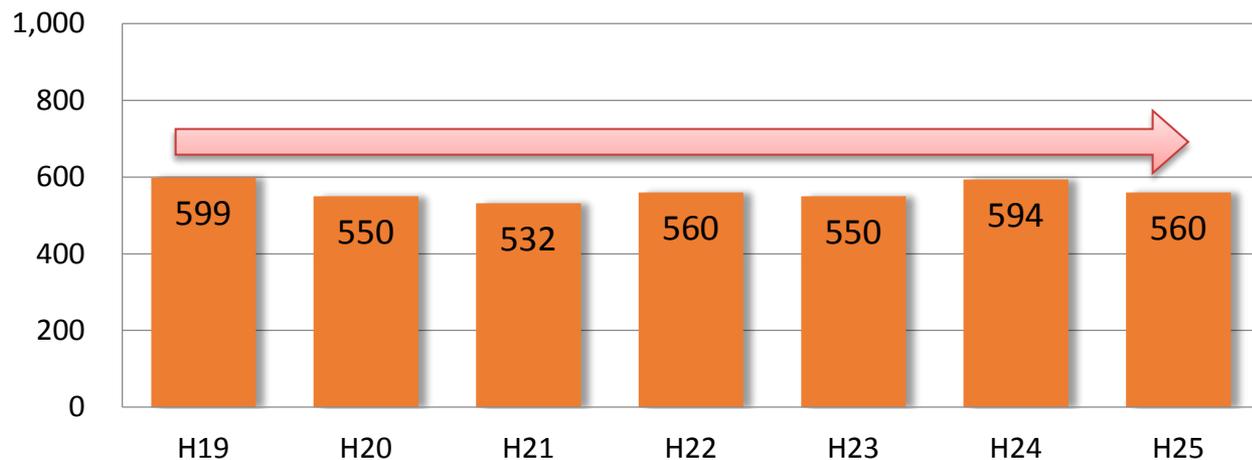
◎ 自転車事故件数の推移 (H19~H25)

大阪府 自転車事故件数 (H19-H25)



大阪府では、
自転車事故が
21%減少
(H19~H25)

茨木市 自転車事故件数 (H19-H25)

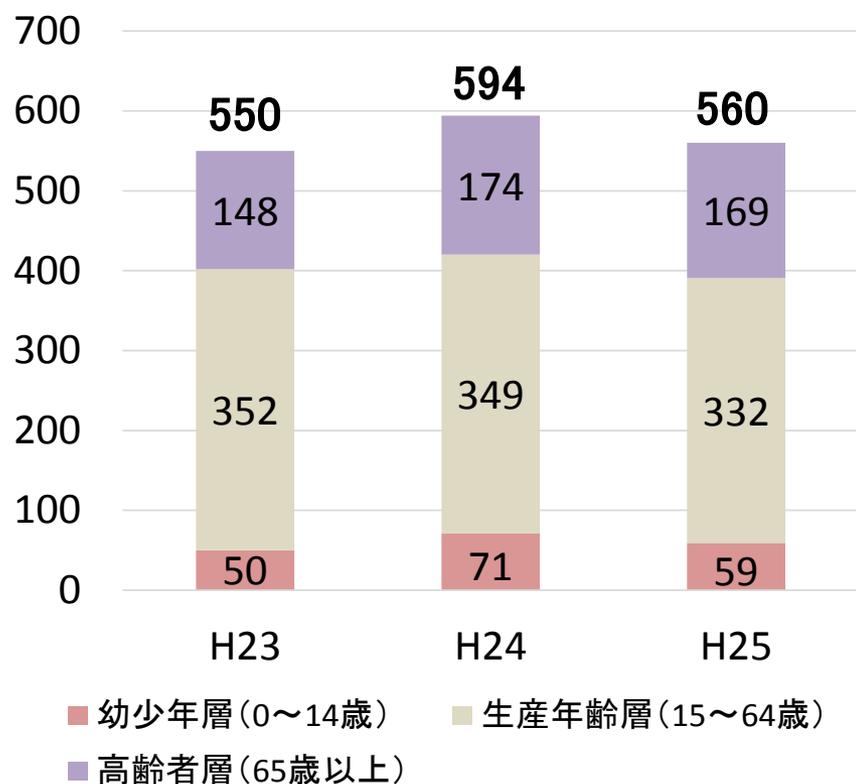


茨木市では、
自転車事故が
横ばい傾向
(H19~H25)

⑪ 自転車関連事故

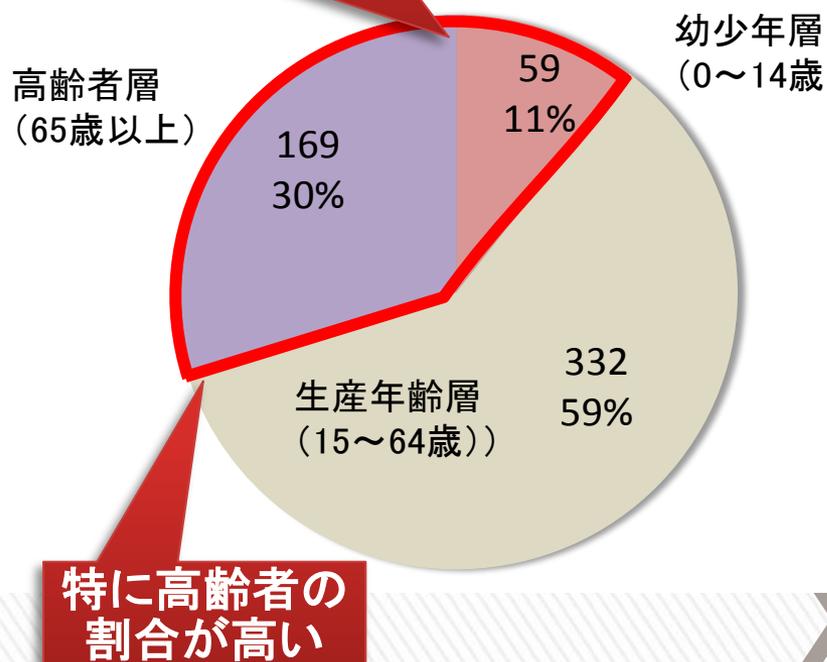
◎ 茨木市の年齢層別の事故件数

年齢層別自転車事故件数の推移



茨木市
年齢層別の自転車事故件数
(H25)

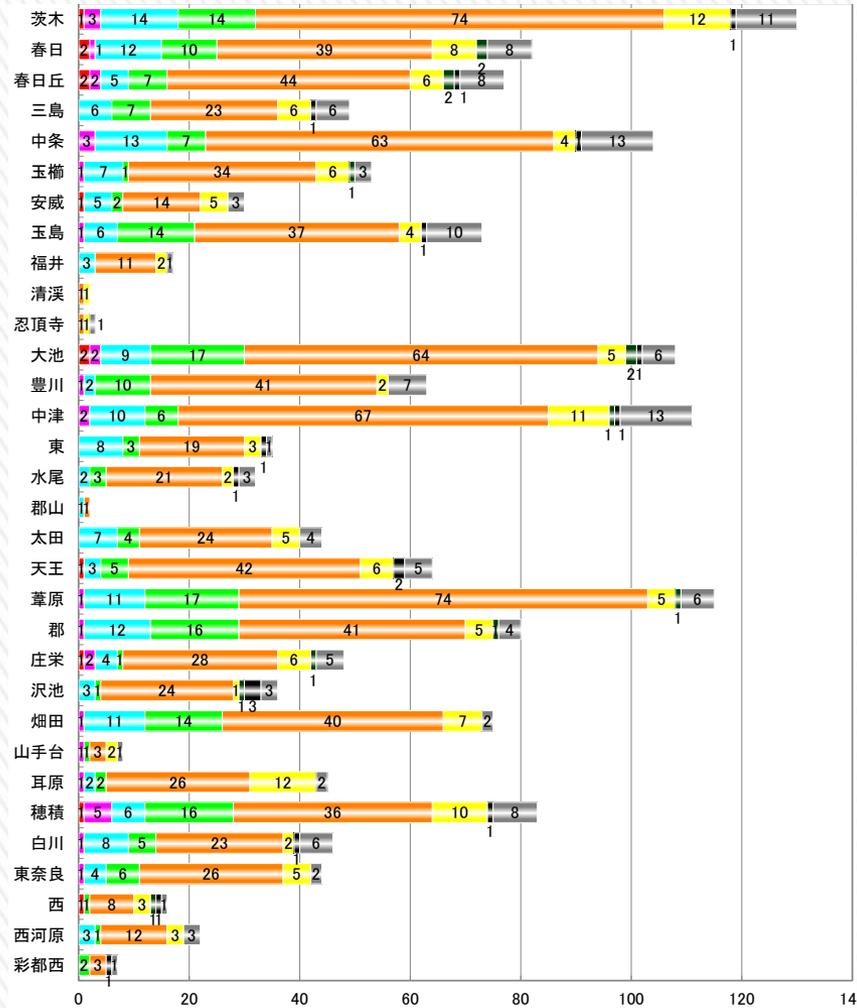
茨木市では、子ども・高齢者が関連する事故の割合が40%を超過



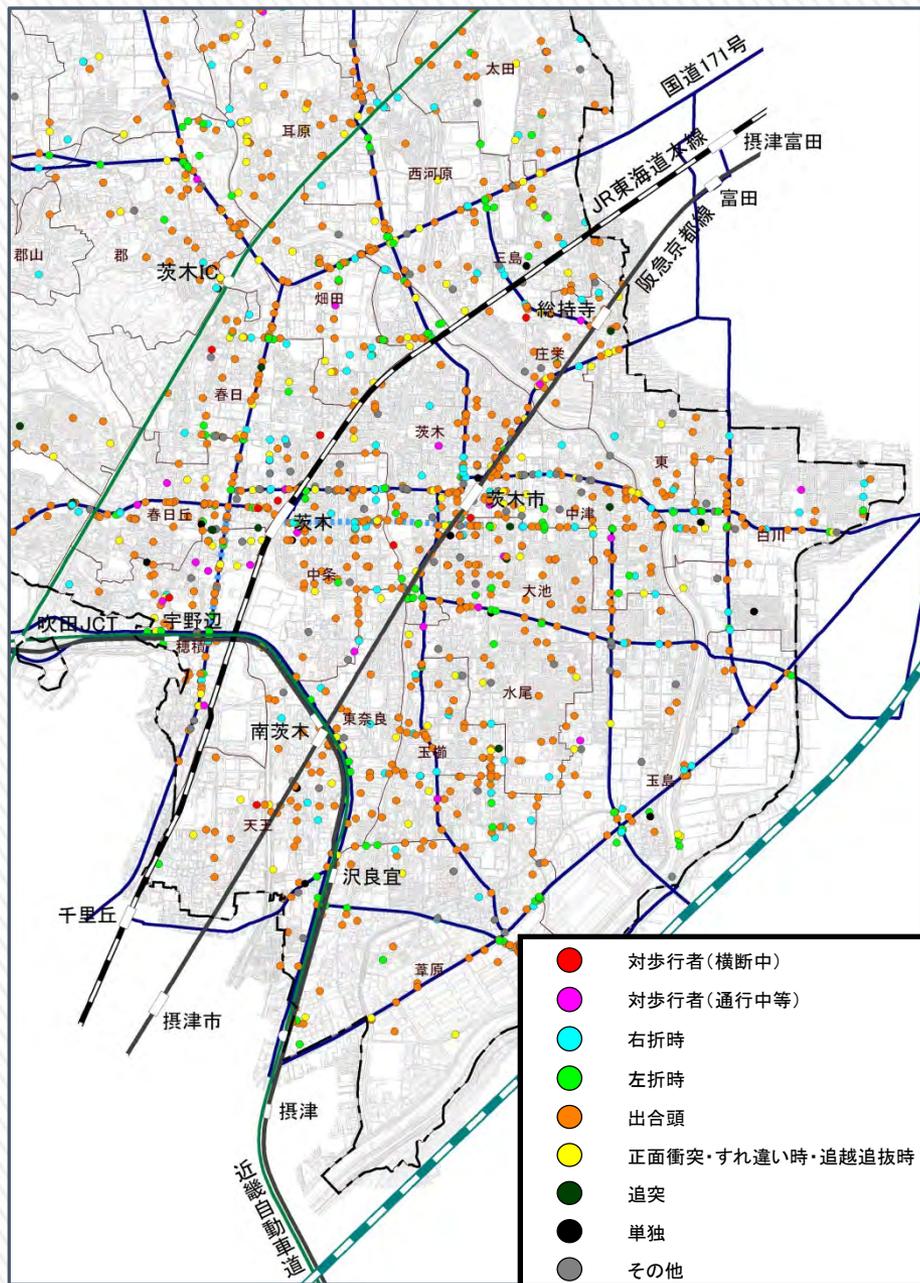
資料: 大阪府警察本部 (H23~25)

11 自転車関連事故

◎ 事故類型別発生件数

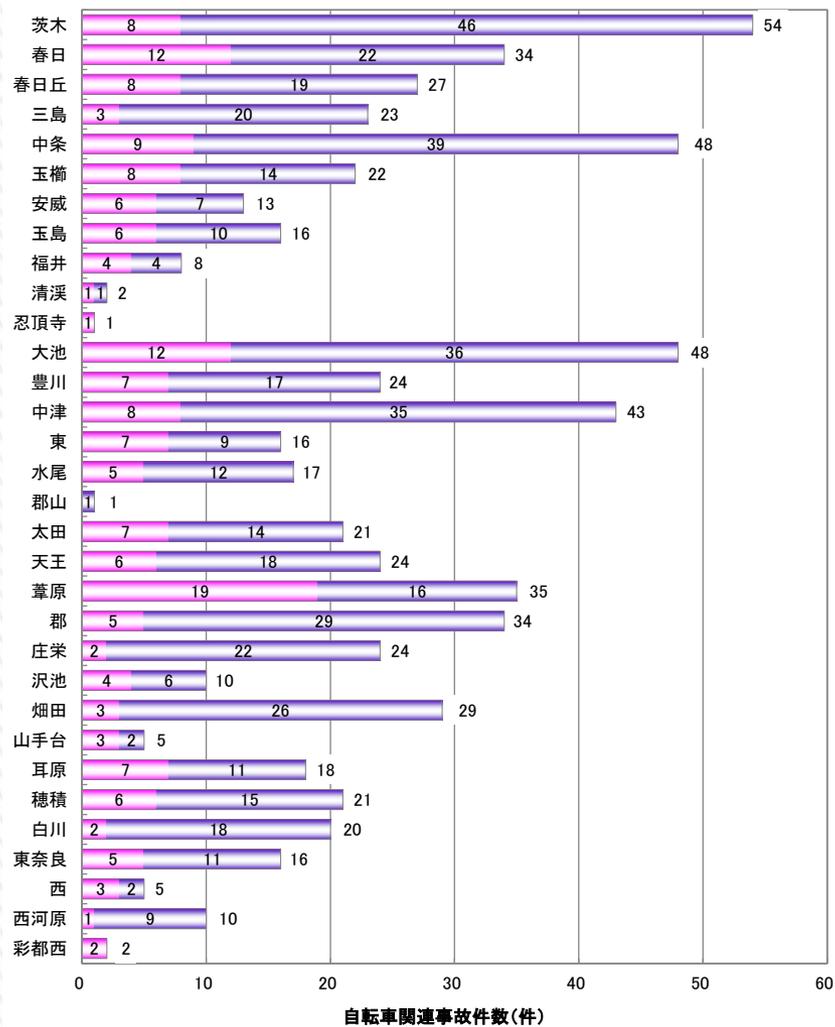


■ 対歩行者(横断中) ■ 対歩行者(通行中等) ■ 右折時
 ■ 左折時 ■ 出合頭 ■ 正面衝突・すれ違い時・追越追抜時
 ■ 追突 ■ 単独 ■ その他



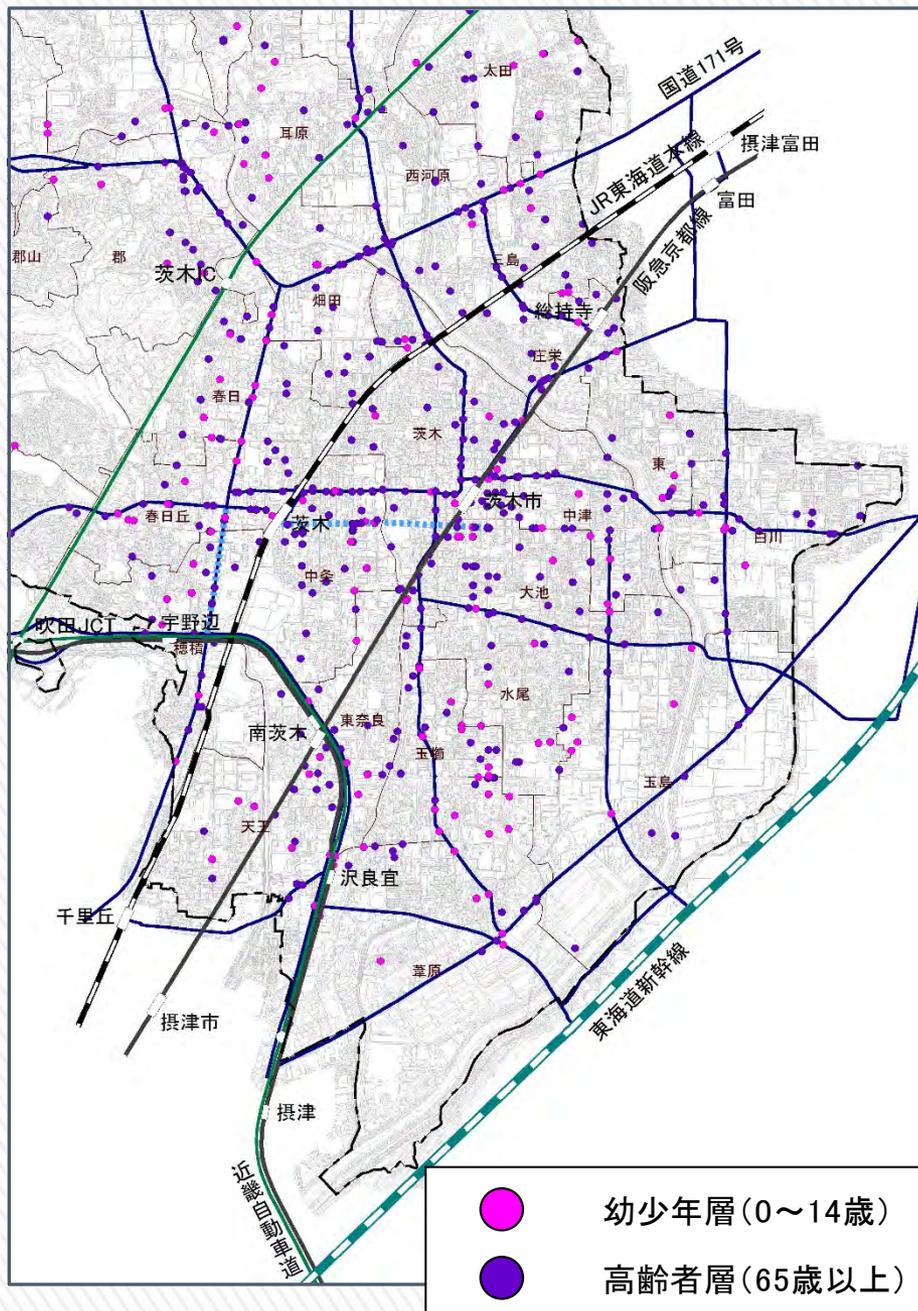
11 自転車関連事故

◎ 年齢層別発生件数

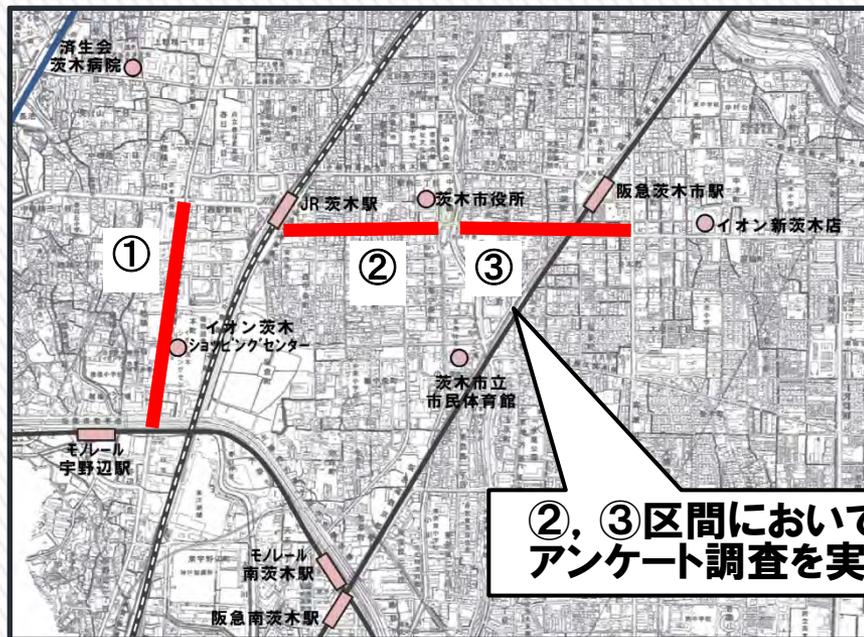


■ 幼少年層(0~14歳) ■ 高齢者層(65歳以上)

資料:大阪府警察本部(H23~25)

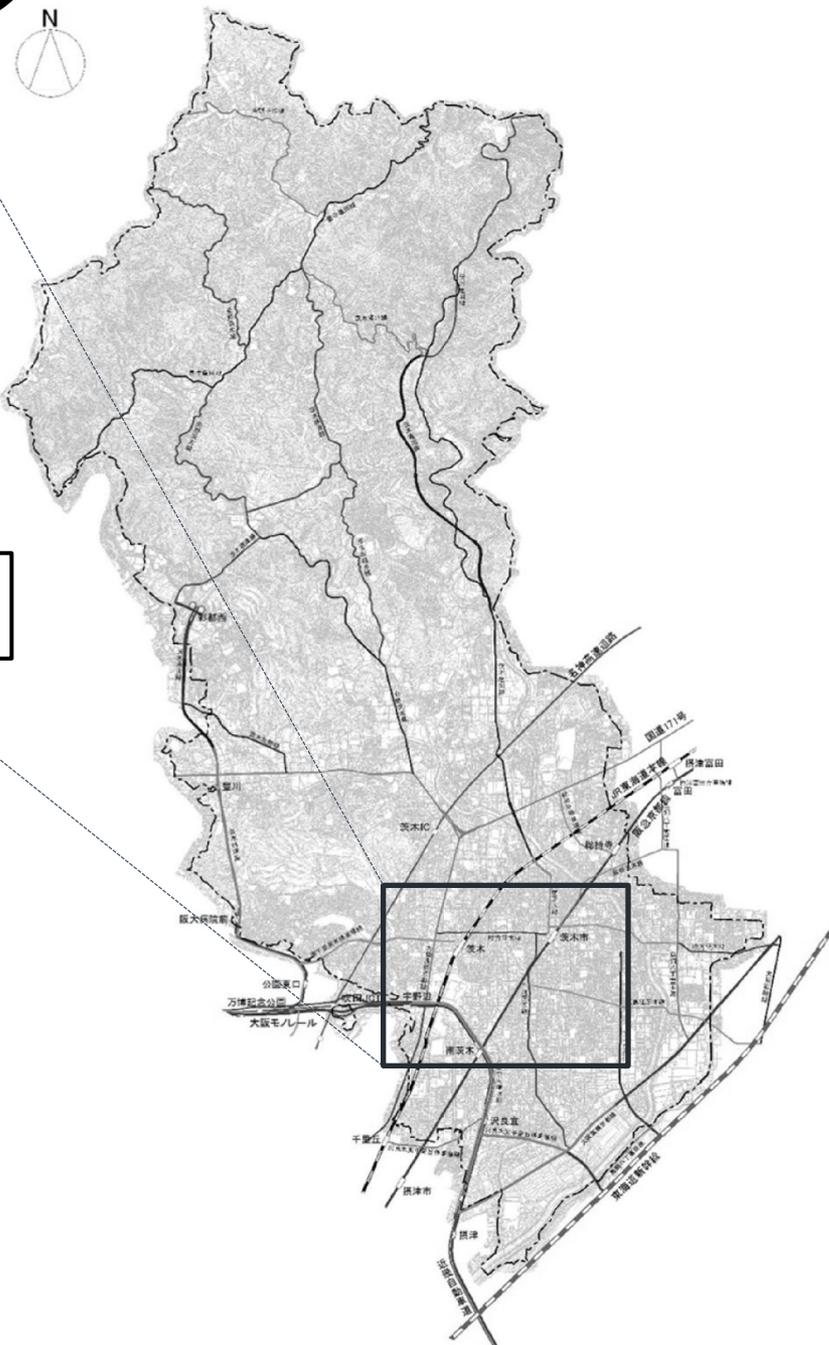


⑫市内における自転車レーン



②、③区間において、アンケート調査を実施

①府道大阪高槻京都線 ②、③市道駅前一丁目学園南線



⑫市内における自転車レーン

◎利用者アンケート結果

市道駅前一丁目学園南線においてアンケート調査を実施▷

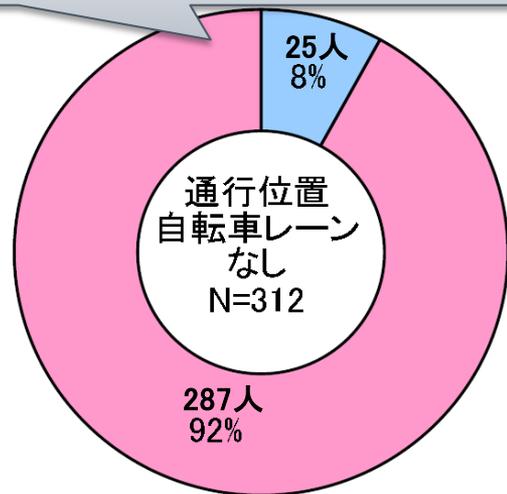


Q.あなたが普段、自転車を利用する時、整備区間に限らず主に通行している位置についてお聞かせ下さい。

(1)自転車レーンがない場合

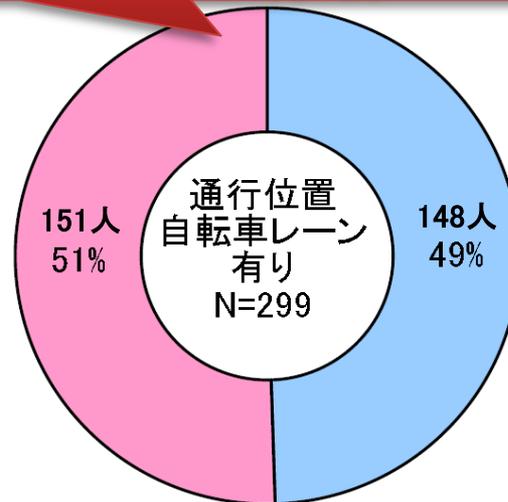
(2)自転車レーンがある場合

「歩道を通行する人」の割合が約9割強



□車道 □歩道

「歩道を通行する人」の割合が約5割



□自転車レーン □歩道

⑫市内における自転車レーン

◎利用者アンケート結果

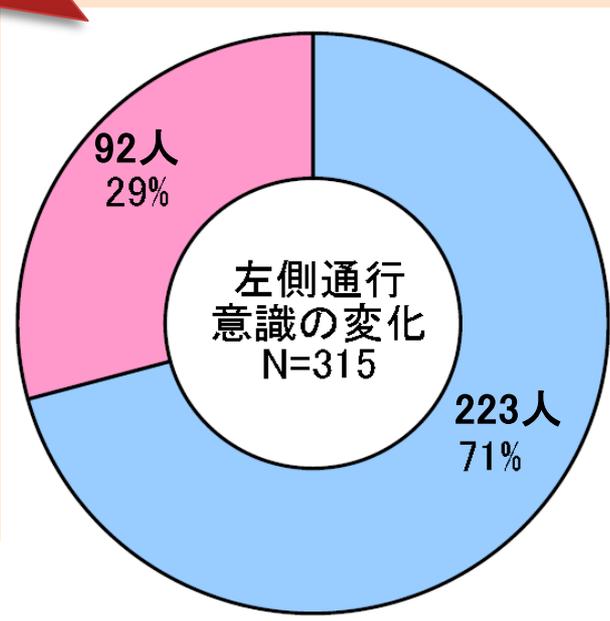
市道駅前一丁目学園南線においてアンケート調査を実施▷



Q.自転車レーンが整備されて、整備前と比べて、「左側通行」を意識するようになりましたか？

「左側通行を意識するようになったと思う人」の割合が約7割

項目	回答数
はい	223
いいえ	92
未回答	80
有効回答	315
合計	395



□はい □いいえ

4. ヒアリング調査の概要

■ 目的

自転車利用者の利用実態、自転車ルールの遵守状況等について把握するため

■ 調査実施日

平成26年7月13日(日)、15日(火)

■ 調査場所

□ 主要駅(7駅)

JR茨木駅、阪急茨木市駅・南茨木駅・総持寺駅、
モノレール南茨木駅・宇野辺駅・沢良宜駅

□ 主要施設(7施設)

茨木市役所、市立市民体育館、中央図書館、
済生会茨木病院、イオン茨木ショッピングセンター、
イオン新茨木店、アルプラザ茨木



4. ヒアリング調査の概要

■回収サンプル数

518票（休日255票、平日263票）

■結果概要

- 自転車の利用目的は、通勤利用と買い物利用で全体の約7割を占めている。
- 自転車を利用して「危険を感じた経験」がある自転車利用者は、5割以上となっている。
- 自転車通行ルールを認知していても、守っていない自転車利用者が多い。
- 自転車環境の改善、自転車の利用促進に向けて、「自転車通行空間の整備」や「駐輪場の容量拡大」を求める回答が多い。

(3) 自転車利用に関する課題

- 1. 現状のまとめ**
- 2. 自転車交通の課題**



1. 現状のまとめ

- 茨木市は、他都市と比べて自転車の利用が多い
- 鉄道駅や都市的土地利用の集積が見られる平野部
において、自転車利用が集中
- 他都市で自転車事故が減少する中、茨木市の自転車事故は横ばい傾向
- 自転車レーンが設置されていない道路では、歩道を走行する自転車が多い
- 自転車の撤去台数は横ばい傾向にある
- 交通戦略の将来目標では、市民・来訪者を問わず誰もが安全で快適に自転車が利用できる環境の創出を目指している

2. 自転車交通の課題

① 自転車通行空間の整備

→ 通行環境“はしる”の取組みが必要

② 自転車駐輪対策

→ 駐輪環境“とめる”の取組みが必要

③ 交通ルールの遵守・マナーの向上

→ 安全利用“まもる”の取組みが必要

④ 自転車利用の促進

→ 利用促進“つかう”の取組みが必要



(4) 取組み施策について

- 1. 通行環境 “はしる”**
- 2. 駐輪環境 “とめる”**
- 3. 安全利用 “まもる”**
- 4. 利用促進 “つかう”**



1. 通行環境 “はしる”

◎自転車通行空間の安全性向上を図る

■取組み「自転車通行空間の整備」

車道通行

○自転車道

縁石線等の工作物により構造的に分離された自転車専用の通行空間



○自転車専用通行帯

交通規制により指定された、自転車が専用で通行する車両通行帯。自転車と自動車を視覚的に分離



○車道（自動車との混在）

自転車と自動車が車道で混在。自転車の通行位置を明示し、自動車に注意喚起するため、必要に応じて路肩のカラー化、帯状の路面表示やピクトグラム等を設置



ピクトグラムの例



帯状の路面表示の例

自動車・歩行者と分離

○自転車歩行者道内の自転車通行位置の明示



整備延長:約3,000km(H22.4現在)

1. 通行環境 “はしる”

■取組み「自転車通行空間の整備」

⇒自転車ネットワークの形成

(整備路線の選定、整備形態の選定)

<整備路線の選定要件>

- ①公共交通施設、学校、地域の核となる商業施設、主な居住地区等を結ぶ路線
- ②自転車関連の事故が多い路線
- ③地域の課題やニーズがある路線
- ④沿道で新たに施設立地が予定されている路線
- ⑤既に自転車の通行空間(自転車道、自転車専用通行帯、自転車専用道路)が整備されている路線
- ⑥自転車ネットワークの連続性を確保するための路線

2. 駐輪環境 “とめる”

◎便利で使いやすい駐輪環境の創出を図る

■取組み「駐輪場、駐輪スペースの充実」

例1) 駅・バス停、公共公益施設、
観光施設、商業施設を中心と
した駐輪場の充実



茨木市駅東口駐輪場

例2) 放置自転車が多い箇所を対象
に路上駐輪場を整備



南茨木市駅周辺の路上駐輪場



3. 安全利用 “まもる”

◎自転車利用者のルール遵守・マナー向上を図る

■取組み1 「ルールの周知」

例1) 通行ルールを示す看板を設置



出典:安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン

例2) 啓発活動を実施



出典:安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン

例3) 一般市民・学生・高齢者を対象に安全教育の実施



出典:東京都三鷹市HP

例4) ルールに関するイベントの実施



出典:全日本交通安全協会HP 39

3. 安全利用 “まもる”

■取組み2 「ルール遵守のインセンティブ付与」

例) 高校生を対象に自転車運転免許証制運動を実施

氏名	茨木 太郎	平成 年 月 日生	
学校名	大阪府立北摂つばさ高等学校		
交付	平成 年 月 日		
免許証交付日から本校在籍の期間有効		自転車運転免許証	
免許の条件等	自転車の安全な走行を遵守すること		
大阪府立北摂つばさ高等学校 「交通事故をなくす運動」茨木市推進本部 (茨木市・茨木警察署・茨木交通安全協会) 茨木ドライビングスクール			

■取組み3 「交通違反に対する指導・取締り」

例) 自転車に対する指導・取締りの実施



4. 利用促進 “つかう”

◎市民・来訪者の自転車利用促進を図る

■取組み 「利用促進対策の実施」

例1) 自転車マップの配布



出典: おおさか自転車マップづくりの会HP

例2) レンタサイクルの導入



出典: 堺市自転車理橋環境整備計画

例3) レンタサイクル貸出場所に公共交通の運行情報を提供



出典: さかいコミュニティサイクルHP



第2回協議会について



1. 次回の主要議題

1. 自転車を取り巻く現状と課題

- これまでの取組み
- 茨木市の自転車利用の現状
- 課題のまとめ

第1回
(本日)

2. 計画目標と基本方針

- 計画の目標 第2回
- 目標の実現に向けた基本方針 第2回



1. 次回の主要議題

3. 自転車利用環境整備に向けた取り組み

- | | | |
|----------------|-------|------------|
| □通行環境“はしる”に向けて | | 第2回 |
| □駐輪環境“とめる”に向けて | | 第3回 |
| □安全利用“まもる”に向けて | | 第3回 |
| □利用促進“つかう”に向けて | | 第3回 |

4. 自転車利用環境整備計画(案)の作成

- | | | |
|---------------------------|-------|------------|
| □整備計画(素案)の作成 | | 第3回 |
| □パブリックコメントを踏まえた整備計画(案)の作成 | | 第4回 |